



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月9日  
上場取引所 東

上場会社名 東邦アセチレン株式会社  
コード番号 4093 URL <http://www.toho-ace.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 泰夫  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 川上 英規  
四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日 配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 022-385-7692  
平成29年12月1日

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	16,686	0.9	716	△6.0	761	△8.3	434	△14.5
29年3月期第2四半期	16,531	4.5	762	13.1	829	11.2	507	12.6

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 583百万円(33.9%) 29年3月期第2四半期 435百万円(△2.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	62.12	—
29年3月期第2四半期	72.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	29,760	14,482	43.2
29年3月期	31,015	14,138	40.5

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 12,867百万円 29年3月期 12,549百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
30年3月期	—	20.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	15.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

30年3月期の第2四半期末の配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 5円00銭(東京証券取引所市場第一部指定記念配当)

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	△4.3	1,900	△11.4	2,000	△11.0	1,200	△10.2	171.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 ( )、除外 一社 ( )

(2) 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の  
会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	7,004,000株	29年3月期	7,004,000株
② 期末自己株式数	17,673株	29年3月期	17,493株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	6,986,415株	29年3月期2Q	6,986,507株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善がみられるものの、米国の政策動向、欧州の政治リスク等により先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の売上高は166億86百万円と前年同四半期に比べ1億55百万円(0.9%)の増収となりましたが、営業利益は7億16百万円と前年同四半期に比べ45百万円(6.0%)の減益、経常利益は7億61百万円と前年同四半期に比べ68百万円(8.3%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億34百万円と前年同四半期に比べ73百万円(14.5%)の減益となりました。

セグメント別業績の概要は次のとおりであります。

#### ガス関連事業

ガス関連事業におきましては、溶解アセチレンは公共工事向けの、水素は石英加工向けの需要が減少いたしました。窒素は半導体・エレクトロニクス向けの需要が増加し、液化石油ガス及び石油類は輸入価格の上昇に伴う販売価格の値上げ等により売上高は増加いたしました。

以上の結果、当部門の売上高は84億98百万円と前年同四半期に比べ4億66百万円(5.8%)増加いたしました。営業利益は多賀城工場の大規模定期修理に加え販売費の増加により6億80百万円と前年同四半期に比べ1億50百万円(18.1%)の減少となりました。

#### 器具器材関連事業

器具器材関連事業におきましては、溶接切断器具及び溶接材料の需要が増加したことにより売上高は増加いたしました。

以上の結果、当部門の売上高は53億9百万円と前年同四半期に比べ2億74百万円(5.4%)増加、営業利益は1億9百万円と前年同四半期に比べ30百万円(37.8%)の増加となりました。

#### 自動車機器関連事業

自動車機器関連事業におきましては、自動車部品メーカーの設備投資需要が一巡したことにより売上高は減少いたしました。

以上の結果、当部門の売上高は19億51百万円と前年同四半期に比べ4億66百万円(19.3%)減少、営業利益は1億12百万円と前年同四半期に比べ31百万円(21.9%)の減少となりました。

#### その他事業

その他事業におきましては、製氷・冷凍機械等の受注が減少したこと等により売上高は減少いたしました。

以上の結果、当部門の売上高は9億27百万円と前年同四半期に比べ1億18百万円(11.3%)減少いたしました。利益率の改善に努めた結果、営業利益は1億77百万円と前年同四半期に比べ1億13百万円(175.8%)の増加となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、297億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億55百万円減少いたしました。この主な要因は、現金及び預金が増加(11億9百万円)いたしました。電子記録債権が減少(21億86百万円)したこと等によるものであります。

負債は、152億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億98百万円減少いたしました。この主な要因は、電子記録債務が減少(8億83百万円)したこと及び借入金が増加(5億21百万円)したこと等によるものであります。

純資産は、144億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億43百万円増加いたしました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加(2億24百万円)したこと等によるものであります。

### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、60億48百万円となり、前連結会計年度末より11億9百万円(22.5%)増加いたしました。

なお、当第2四半期連結累計期間に係る各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、20億83百万円となりました。仕入債務が減少いたしました。債権回収に伴う売上債権が減少したこと等により前年同四半期に比べ9億65百万円(86.4%)増加しております。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は、1億82百万円となりました。有形固定資産の取得による支出が減少したこと等により前年同四半期に比べ3億4百万円(62.6%)減少しております。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は、7億91百万円となりました。借入れによる収入が増加したこと等により前年同四半期に比べ5億85百万円(285.5%)増加しております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,954,527	6,064,449
受取手形及び売掛金	7,076,763	6,752,912
電子記録債権	4,905,035	2,718,732
商品及び製品	823,549	910,517
仕掛品	228,215	210,328
原材料及び貯蔵品	84,851	86,578
その他	364,555	376,570
貸倒引当金	△30,836	△27,120
流動資産合計	18,406,662	17,092,967
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,346,852	3,292,673
機械装置及び運搬具(純額)	1,368,134	1,266,481
土地	5,571,276	5,570,214
その他(純額)	335,891	395,995
有形固定資産合計	10,622,155	10,525,364
無形固定資産	123,816	123,881
投資その他の資産		
投資有価証券	1,212,168	1,396,423
その他	732,825	673,605
貸倒引当金	△81,705	△51,406
投資その他の資産合計	1,863,288	2,018,622
固定資産合計	12,609,260	12,667,868
資産合計	31,015,923	29,760,836
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,949,304	5,817,777
電子記録債務	2,057,486	1,174,006
短期借入金	3,545,000	3,324,000
1年内返済予定の長期借入金	705,424	593,424
未払法人税等	416,776	271,241
賞与引当金	349,348	362,289
役員賞与引当金	14,730	3,330
その他	1,088,187	1,146,319
流動負債合計	14,126,257	12,692,388
固定負債		
長期借入金	823,516	635,344
役員退職慰労引当金	457,617	416,180
退職給付に係る負債	1,252,321	1,267,466
資産除去債務	5,453	5,503
その他	211,981	261,664
固定負債合計	2,750,889	2,586,158
負債合計	16,877,146	15,278,547

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,261,000	2,261,000
資本剰余金	970,902	971,320
利益剰余金	9,214,391	9,438,548
自己株式	△9,102	△9,369
株主資本合計	12,437,191	12,661,499
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112,346	205,649
その他の包括利益累計額合計	112,346	205,649
非支配株主持分	1,589,238	1,615,139
純資産合計	14,138,776	14,482,288
負債純資産合計	31,015,923	29,760,836

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	16,531,381	16,686,980
売上原価	11,632,840	11,791,667
売上総利益	4,898,541	4,895,312
販売費及び一般管理費	4,135,954	4,178,594
営業利益	762,587	716,718
営業外収益		
受取利息	276	130
受取配当金	9,306	13,456
受取賃貸料	41,912	41,638
持分法による投資利益	15,006	6,547
その他	53,020	41,858
営業外収益合計	119,521	103,630
営業外費用		
支払利息	24,628	20,733
賃貸費用	26,882	21,788
補助金返還損	—	14,029
その他	598	2,707
営業外費用合計	52,110	59,257
経常利益	829,998	761,091
特別利益		
固定資産売却益	3,704	5,588
投資有価証券売却益	62,136	—
特別利益合計	65,841	5,588
特別損失		
固定資産除売却損	28,651	8,730
特別損失合計	28,651	8,730
税金等調整前四半期純利益	867,188	757,949
法人税等	316,488	291,576
四半期純利益	550,700	466,373
非支配株主に帰属する四半期純利益	43,040	32,351
親会社株主に帰属する四半期純利益	507,659	434,022

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	550,700	466,373
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△114,609	118,424
持分法適用会社に対する持分相当額	△225	△1,148
その他の包括利益合計	△114,834	117,276
四半期包括利益	435,865	583,649
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	419,041	527,324
非支配株主に係る四半期包括利益	16,824	56,324

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	867,188	757,949
減価償却費	445,101	395,414
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11,725	△34,015
賞与引当金の増減額(△は減少)	23,084	12,941
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,600	△11,400
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	13,462	△41,437
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7,806	15,144
受取利息及び受取配当金	△9,582	△13,586
支払利息	24,628	20,733
持分法による投資損益(△は益)	△15,006	△6,547
投資有価証券売却損益(△は益)	△62,136	—
固定資産売却益	△3,704	△5,588
固定資産除売却損	28,651	8,730
売上債権の増減額(△は増加)	△145,713	2,510,155
たな卸資産の増減額(△は増加)	△198,235	△70,808
仕入債務の増減額(△は減少)	828,713	△1,015,006
その他	△308,757	901
小計	1,471,173	2,523,580
利息及び配当金の受取額	13,248	15,652
利息の支払額	△24,519	△20,185
法人税等の支払額	△342,462	△435,797
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,117,440	2,083,250

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△576,604	△217,467
有形固定資産の売却による収入	4,640	36,266
無形固定資産の取得による支出	△941	△13,147
投資有価証券の取得による支出	△2,536	△2,901
投資有価証券の売却による収入	76,732	—
貸付けによる支出	△11,000	△7,500
貸付金の回収による収入	17,000	8,828
その他	6,031	13,665
投資活動によるキャッシュ・フロー	△486,677	△182,257
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,236,000	1,178,000
短期借入金の返済による支出	△1,270,000	△1,399,000
長期借入れによる収入	500,000	—
長期借入金の返済による支出	△452,340	△300,172
リース債務の返済による支出	△32,722	△30,373
自己株式の取得による支出	—	△266
配当金の支払額	△172,836	△208,477
非支配株主への配当金の支払額	△13,312	△28,981
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△5	△1,800
財務活動によるキャッシュ・フロー	△205,217	△791,071
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	425,545	1,109,921
現金及び現金同等物の期首残高	3,997,203	4,938,527
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,422,749	6,048,449

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ガス関連 事業	器具器材 関連事業	自動車機器 関連事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,031,782	5,035,462	2,418,502	1,045,634	16,531,381	—	16,531,381
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	8,031,782	5,035,462	2,418,502	1,045,634	16,531,381	—	16,531,381
セグメント利益	831,423	79,560	143,734	64,295	1,119,014	△356,427	762,587

(注) 1 セグメント利益の調整額△356,427千円は、すべて全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ガス関連 事業	器具器材 関連事業	自動車機器 関連事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,498,214	5,309,677	1,951,963	927,125	16,686,980	—	16,686,980
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	8,498,214	5,309,677	1,951,963	927,125	16,686,980	—	16,686,980
セグメント利益	680,617	109,646	112,264	177,348	1,079,876	△363,157	716,718

(注) 1 セグメント利益の調整額△363,157千円は、すべて全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。